

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2014年3月調査）

2014年4月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2014年1～3月の実績と2014年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,047社からご協力をいただき、回答率は41.9%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

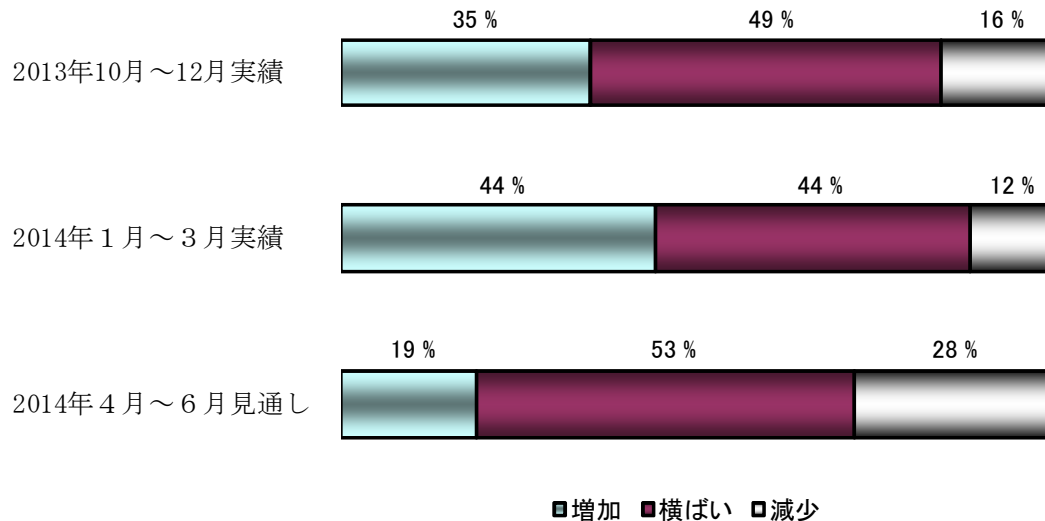
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	100	43.1
	繊 維 ・ 衣 服	111	46	41.4
	木 材 ・ 家 具	96	38	39.6
	パ ル プ ・ 紙	107	45	42.1
	化学・プラスチック	239	113	47.3
	窯 業 ・ 土 石	102	39	38.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	102	52.3
	金 属 製 品	128	53	41.4
	一 般 機 械	221	79	35.7
	電 気 機 械	333	132	39.6
	輸 送 用 機 械	252	101	40.1
	精 密 機 械	67	23	34.3
	そ の 他	167	61	36.5
計		2,250	932	41.4
卸 売 業	生 産 財	124	58	46.8
	消 費 財	126	57	45.2
	計	250	115	46.0
合 計		2,500	1,047	41.9

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

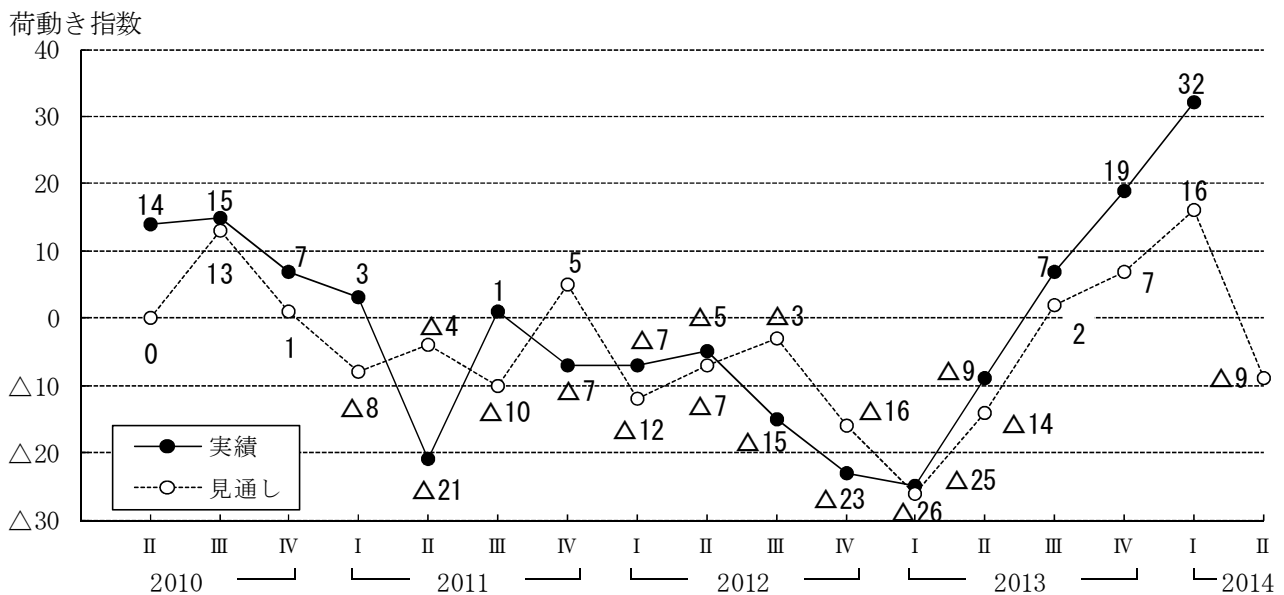
- 2014年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2013年10～12月）実績より9ポイント上昇し44%となった。一方、「減少」との回答は前期より4ポイント低下し12%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は13ポイント上昇してプラス32となった。
- 2014年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2014年1～3月）実績（見込み）より25ポイント低下し19%となる一方、「減少」との回答は16ポイント上昇し28%になる。この結果『荷動き指数』は41ポイント低下して△9と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



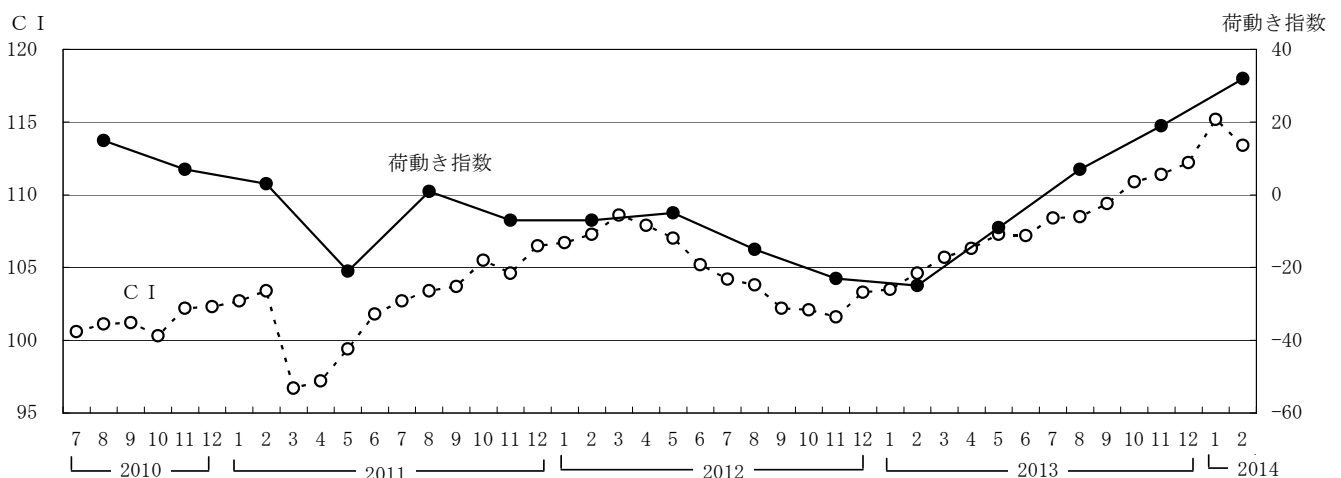
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2013年1～3月実績において底打ちした後、4～6月実績以降は大幅な上昇に転じ、7～9月実績ではプラス7と、2011年7～9月実績以来2年ぶりのプラスに浮上した。さらに消費税増税前の駆け込み需要の発生などを受けて、10～12月実績ではプラス19、2014年1～3月実績（見込み）ではプラス32と、本調査を開始した2002年以降では最高値となった。しかし、駆け込み需要の反動などから、4～6月見通しでは一転して41ポイントの大幅な下降が見込まれている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2014年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2014年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の谷は2009年3月、景気の山は2012年4月（暫定）となっている。

■ 2014年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、精密機械が唯一マイナスを示す以外は、残り14業種が2ケタのプラスとなった。前期（2013年10～12月）実績との比較では、精密機械以外の業種において上昇がみられた。

■ 2014年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、精密機械が前期（2014年1～3月）実績（見込み）よりも若干改善する一方、残り14業種では大幅な悪化が見込まれる。この結果、プラスの業種は皆無となり、金属製品および一般機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り13業種がマイナスを示す。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	94	34	51	15	19	94	18	59	23	△ 5	
繊維・衣服	46	33	57	10	23	46	15	50	35	△ 20	
木材・家具	37	62	27	11	51	37	22	43	35	△ 13	
パルプ・紙	44	66	30	4	62	43	23	51	26	△ 3	
化学・プラスチック	111	41	48	11	30	111	18	53	29	△ 11	
窯業・土石	39	54	38	8	46	39	23	51	26	△ 3	
鉄鋼・非鉄	101	45	46	9	36	102	21	56	23	△ 2	
金属製品	52	48	48	4	44	51	18	64	18	0	
一般機械	78	35	53	12	23	77	26	48	26	0	
電気機械	131	38	48	14	24	130	16	56	28	△ 12	
輸送用機械	98	50	35	15	35	98	24	42	34	△ 10	
精密機械	22	14	59	27	△ 13	22	13	64	23	△ 10	
その他	59	49	41	10	39	60	18	54	28	△ 10	
計	912	43	45	12	31	910	20	53	27	△ 7	
卸売業	生産財	58	50	33	17	33	58	17	50	33	△ 16
	消費財	57	42	47	11	31	57	11	61	28	△ 17
	計	115	46	40	14	32	115	14	56	30	△ 16
合計	1,027	44	44	12	32	1,025	19	53	28	△ 9	

■ 2014年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、全9地域において前期（2013年10～12月）実績よりも上昇がみられ、かつ全9地域で2ケタのプラスを示した。

■ 2014年4～6月の見通しでは、全9地域で『荷動き指数』が大幅に下降し、中国においてプラスを維持するものの、残りの8地域では水面下に沈む。なかでも、東北、北陸・信越、東海では2ケタのマイナスに落ち込む見通しである。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

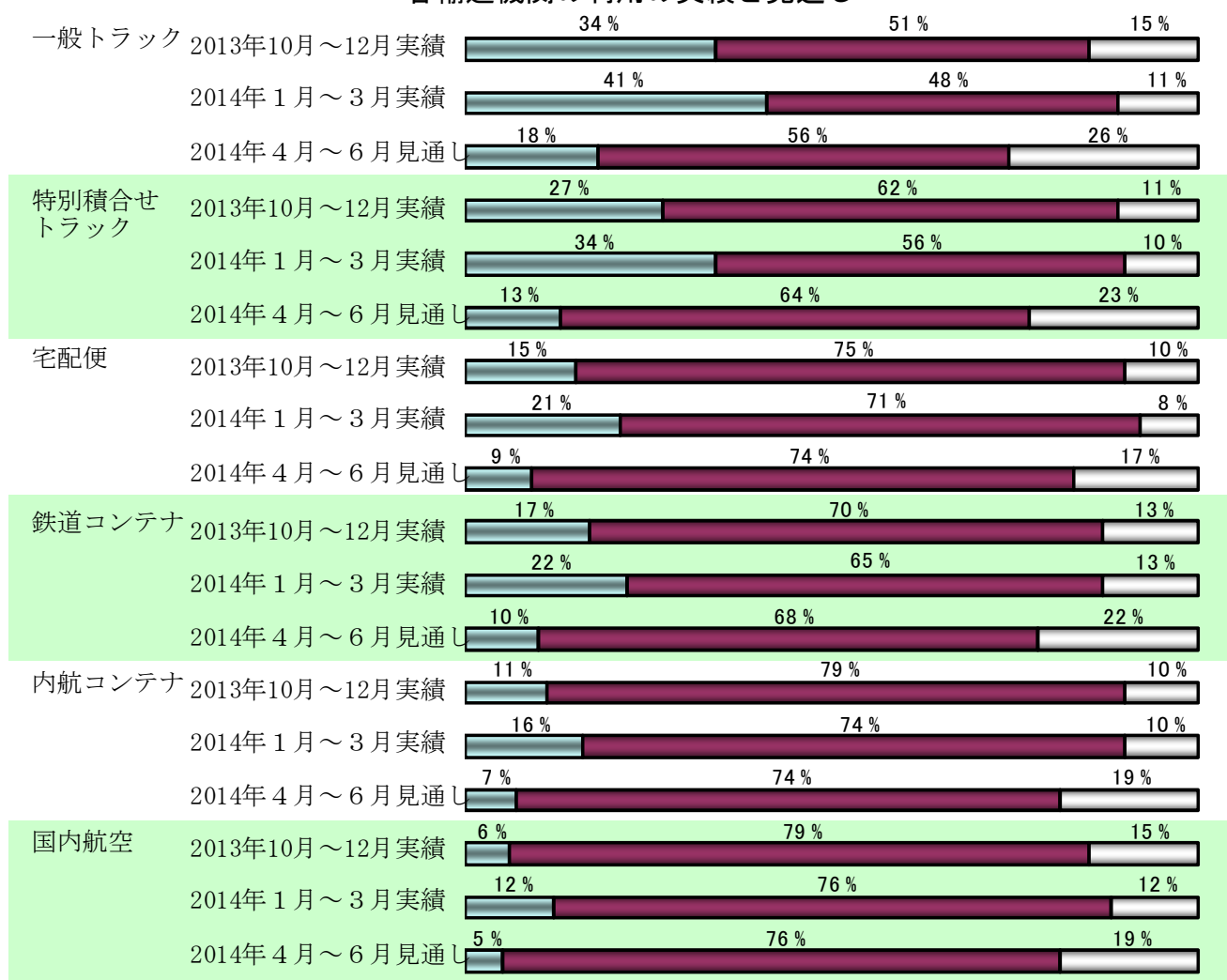
地 域	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し				
	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数	回答 社数	構成比(%)			荷動き 指 数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	50	46	38	16	30	50	22	50	28	△ 6
東 北	93	33	49	18	15	93	12	58	30	△ 18
関 東	260	48	40	12	36	259	21	54	25	△ 4
北 陸 ・ 信 越	97	46	44	10	36	96	17	53	30	△ 13
東 海	154	49	40	11	38	155	18	46	36	△ 18
近 畿	161	38	50	12	26	161	21	52	27	△ 6
中 国	92	35	55	10	25	92	24	61	15	9
四 国	56	41	48	11	30	55	20	53	27	△ 7
九 州 ・ 沖 縄	64	52	41	7	45	64	16	59	25	△ 9
合 計	1,027	44	44	12	32	1,025	19	53	28	△ 9

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2014年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関において前期（2013年10～12月）実績よりも上昇し、国内航空以外の輸送機関では引き続きプラスとなった。なかでも、一般トラック、特別積合せトラック、宅配便では2ケタのプラスを示している。

■ 2014年4～6月の見通しでは、すべての輸送機関において『利用動向指数』が大幅に下降する見込みであり、かつすべての輸送機関でマイナスに沈む。こうした動きは、駆け込み需要の反動の影響を受けたものとみられ、当面利用の減退が続く可能性がある。

各輸送機関の利用の実績と見通し



■増加 ■横ばい ■減少

(1) 一般トラック

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械が唯一マイナスで、残り14業種が2ケタのプラスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2013年10～12月）実績から11ポイント上昇してプラス30となった。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、すべての業種において下降し、鉄鋼・非鉄が唯一プラスで、窯業・土石および金属製品がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は38ポイント低下して△8となる見通しで、利用は減退に向かうものとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	97	32	51	17	15	96	14	59	27	△13
繊維・衣服	39	26	59	15	11	39	15	52	33	△18
木材・家具	37	54	35	11	43	36	17	50	33	△16
パルプ・紙	44	59	34	7	52	44	18	62	20	△2
化学・プラスチック	112	44	47	9	35	109	15	58	27	△12
窯業・土石	38	53	37	10	43	38	21	58	21	0
鉄鋼・非鉄	101	44	50	6	38	100	23	58	19	4
金属製品	52	48	48	4	44	50	20	60	20	0
一般機械	79	35	52	13	22	78	23	50	27	△4
電気機械	125	31	56	13	18	124	17	55	28	△11
輸送用機械	96	46	39	15	31	96	24	45	31	△7
精密機械	17	11	71	18	△7	17	6	76	18	△12
その他	61	48	43	9	39	60	17	55	28	△11
計	898	41	48	11	30	887	18	56	26	△8
卸売業										
生産財	53	53	36	11	42	51	12	59	29	△17
消費財	53	38	57	5	33	54	9	65	26	△17
計	106	45	47	8	37	105	10	62	28	△18
合計	1,004	41	48	11	30	992	18	56	26	△8

(2) 特別積合せトラック

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械が唯一マイナスで、残り14業種がプラスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2013年10～12月）実績から8ポイント上昇してプラス24となった。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、すべての業種において下降し、窯業・土石および金属製品がプラスを示す以外は、残り13業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は34ポイント低下して△10となる見通しで、利用は減退に向かうものとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	64	28	63	9	19	64	19	59	22	△3
	繊維・衣服	36	39	56	5	34	36	17	50	33	△16
	木材・家具	27	48	41	11	37	26	12	50	38	△26
	パルプ・紙	29	41	52	7	34	29	7	79	14	△7
	化学・プラスチック	94	41	52	7	34	92	13	61	26	△13
	窯業・土石	30	30	63	7	23	29	21	72	7	14
	鉄鋼・非鉄	62	34	55	11	23	62	10	71	19	△9
	金属製品	41	39	59	2	37	40	25	60	15	10
	一般機械	64	17	72	11	6	63	13	68	19	△6
	電気機械	99	30	60	10	20	99	15	69	16	△1
	輸送用機械	73	33	49	18	15	73	12	56	32	△20
	精密機械	13	8	77	15	△7	13	0	77	23	△23
	その他	47	38	51	11	27	46	9	63	28	△19
計	679	33	57	10	23	672	14	64	22	△8	
卸 売 業	生産財	46	39	44	17	22	45	9	62	29	△20
	消費財	37	35	60	5	30	37	13	65	22	△9
	計	83	37	51	12	25	82	11	63	26	△15
合計	762	34	56	10	24	754	13	64	23	△10	

(3) 宅配便

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械が唯一マイナスで、残り14業種がプラスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2013年10～12月）実績から8ポイント上昇してプラス13となった。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械が改善する一方、残り14業種において下降し、一般機械が唯一プラスを示す以外は、残り14業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は21ポイント低下して△8となる見通しで、利用は減退に向かうものとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	77	10	81	9	1	77	9	81	10	△1
	繊維・衣服	40	28	70	2	26	39	5	67	28	△23
	木材・家具	33	24	67	9	15	32	3	69	28	△25
	パルプ・紙	27	19	70	11	8	27	7	78	15	△8
	化学・プラスチック	87	17	78	5	12	85	3	85	12	△9
	窯業・土石	31	23	71	6	17	31	9	68	23	△14
	鉄鋼・非鉄	58	12	78	10	2	58	3	81	16	△13
	金属製品	41	27	71	2	25	39	5	85	10	△5
	一般機械	75	27	67	6	21	74	18	66	16	2
	電気機械	117	21	72	7	14	116	8	76	16	△8
	輸送用機械	82	17	76	7	10	81	12	74	14	△2
	精密機械	22	14	59	27	△13	22	14	68	18	△4
	その他	50	30	58	12	18	49	8	57	35	△27
	計	740	20	72	8	12	730	8	75	17	△9
卸 売 業	生産財	47	32	60	8	24	46	13	72	15	△2
	消費財	46	24	70	6	18	46	13	72	15	△2
	計	93	28	65	7	21	92	13	72	15	△2
合計	833	21	71	8	13	822	9	74	17	△8	

(4) 鉄道コンテナ

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械および消費財卸がマイナスで、残り13業種がプラスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2013年10～12月）実績から5ポイント上昇してプラス9となった。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械が強含み横ばいで推移する一方、残り14業種において下降し、パルプ・紙が唯一プラスを示す以外は、残り14業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は21ポイント低下して△12となる見通しで、利用は減退に向かうものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	47	26	60	14	12	47	15	62	23	△ 8
	繊維・衣服	15	13	80	7	6	15	0	67	33	△ 33
	木材・家具	20	25	65	10	15	20	5	65	30	△ 25
	パルプ・紙	35	34	52	14	20	35	20	69	11	9
	化学・プラスチック	79	22	71	7	15	78	14	71	15	△ 1
	窯業・土石	16	31	56	13	18	17	18	53	29	△ 11
	鉄鋼・非鉄	39	23	64	13	10	39	10	75	15	△ 5
	金属製品	18	17	78	5	12	18	6	83	11	△ 5
	一般機械	33	15	73	12	3	33	9	73	18	△ 9
	電気機械	42	17	71	12	5	42	12	62	26	△ 14
	輸送用機械	34	24	59	17	7	34	6	56	38	△ 32
	精密機械	8	12	63	25	△ 13	8	0	88	12	△ 12
	その他	31	19	65	16	3	30	3	74	23	△ 20
計	417	22	66	12	10	416	11	68	21	△ 10	
卸 売 業	生産財	9	44	44	12	32	9	0	89	11	△ 11
	消費財	16	19	56	25	△ 6	16	0	63	37	△ 37
	計	25	28	52	20	8	25	0	72	28	△ 28
合計	442	22	65	13	9	441	10	68	22	△ 12	

(5) 内航コンテナ

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙、精密機械など8業種がプラス、食料品・飲料など4業種がゼロ水準で、繊維・衣服、木材・家具、輸送用機械の3業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス6で、前期（2013年10～12月）実績から5ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石が横ばいで推移する一方、残り14業種において下降し、窯業・土石、鉄鋼・非鉄、精密機械の3業種がプラスを示す以外は、残り12業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は18ポイント低下して△12となる見通しで、利用は減退に向かうものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	28	14	72	14	0	27	15	59	26	△11
	繊維・衣服	7	0	86	14	△14	7	0	71	29	△29
	木材・家具	8	0	88	12	△12	8	0	75	25	△25
	パルプ・紙	18	33	56	11	22	18	11	72	17	△6
	化学・プラスチック	51	22	71	7	15	50	4	76	20	△16
	窯業・土石	12	25	67	8	17	12	25	67	8	17
	鉄鋼・非鉄	29	17	80	3	14	29	14	76	10	4
	金属製品	14	14	72	14	0	14	7	79	14	△7
	一般機械	28	11	78	11	0	28	7	68	25	△18
	電気機械	38	13	74	13	0	38	8	71	21	△13
	輸送用機械	31	10	74	16	△6	31	3	74	23	△20
	精密機械	8	25	75	0	25	8	12	88	0	12
その他	20	15	75	10	5	20	0	80	20	△20	
計	292	16	73	11	5	290	8	73	19	△11	
卸売業	生産財	6	33	50	17	16	6	0	83	17	△17
	消費財	12	17	83	0	17	12	0	83	17	△17
	計	18	22	72	6	16	18	0	83	17	△17
合計	310	16	74	10	6	308	7	74	19	△12	

(6) 国内航空

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、窯業・土石、消費財卸など6業種がプラス、化学・プラスチックなど4業種がゼロ水準で、食料品・飲料など5業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2013年7～9月）実績から9ポイント上昇してゼロ水準となり、2002年以降では初めてマイナスから抜け出した。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、パルプ・紙が横ばいで推移する一方、残り14業種において下降し、消費財卸が唯一ゼロ水準にとどまる以外は、残り14業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『利用動向指数』は14ポイント低下して△14となる見通しで、利用は再び減退に向かうものとみられる。

国内航空利用の実績と見通し

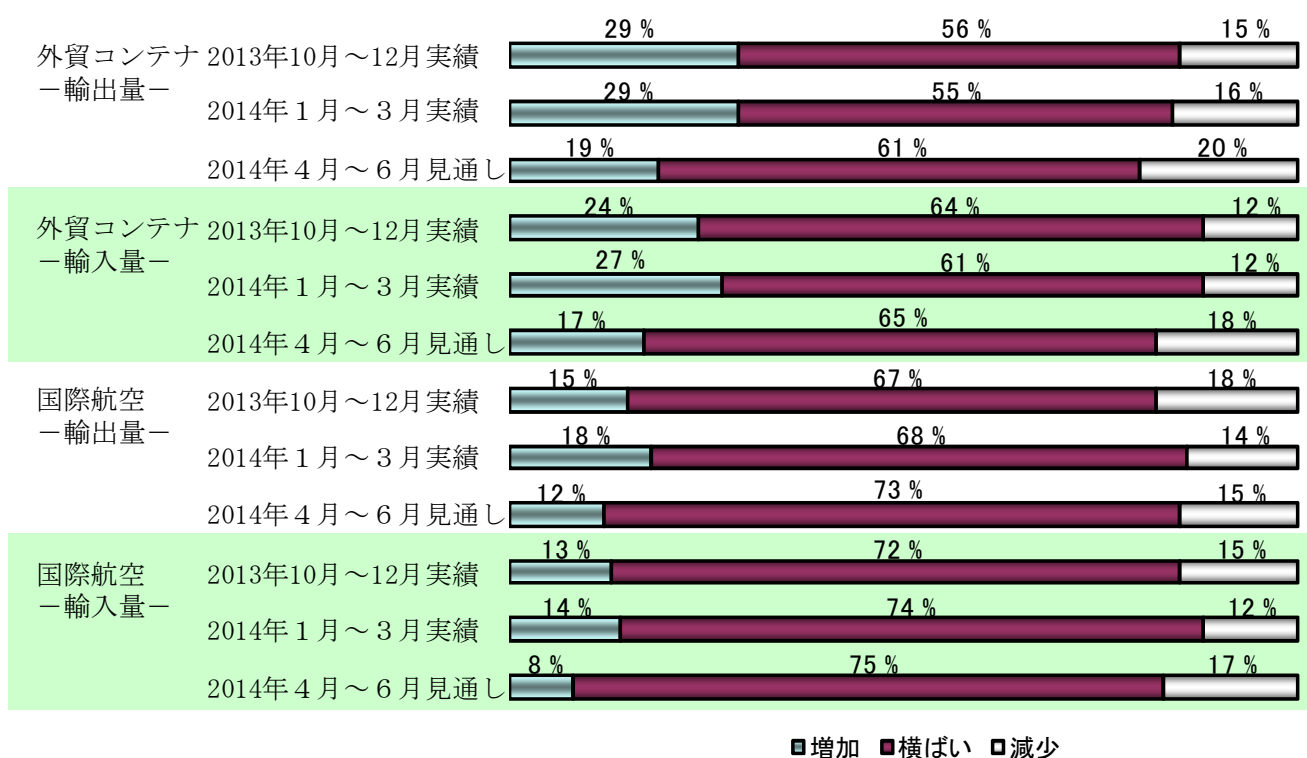
業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	19	0	68	32	△ 32	19	0	63	37	△ 37
	繊維・衣服	11	9	73	18	△ 9	11	0	55	45	△ 45
	木材・家具	8	0	88	12	△ 12	8	0	75	25	△ 25
	パルプ・紙	8	0	88	12	△ 12	8	0	88	12	△ 12
	化学・プラスチック	38	5	90	5	0	38	0	87	13	△ 13
	窯業・土石	9	33	56	11	22	10	10	60	30	△ 20
	鉄鋼・非鉄	23	17	70	13	4	23	9	74	17	△ 8
	金属製品	16	0	88	12	△ 12	15	0	87	13	△ 13
	一般機械	40	10	80	10	0	40	2	83	15	△ 13
	電気機械	67	15	73	12	3	67	9	73	18	△ 9
	輸送用機械	32	19	69	12	7	32	6	75	19	△ 13
	精密機械	11	18	73	9	9	11	9	73	18	△ 9
	その他	20	10	80	10	0	20	0	80	20	△ 20
計	302	11	77	12	△ 1	302	4	76	20	△ 16	
卸売業	生産財	10	30	40	30	0	9	11	56	33	△ 22
	消費財	14	21	79	0	21	14	7	86	7	0
	計	24	25	63	12	13	23	9	74	17	△ 8
合計	326	12	76	12	0	325	5	76	19	△ 14	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関においてプラスとなった。前期（2013年10～12月）実績と比較して、外貿コンテナの輸出では弱含み横ばいで推移したが、それ以外の輸送機械においては上昇がみられた。

■ 2014年4～6月の見通しでは、すべての輸送機関において『荷動き指数』が悪化し、かつすべての輸送機関で水面下に沈む見込みである。外貿コンテナの輸出・輸入および国際航空の輸出では小幅なマイナスにとどまるものの、国際航空の輸入では△9となる見通しで、荷動きは再び減退に向かうものとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙、窯業・土石など10業種がプラス、金属製品および精密機関がゼロ水準で、食料品・飲料、繊維・衣服、木材・家具の3業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス13で、前期（2013年10～12月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料が改善し、繊維・衣服が横ばいで推移する一方、残り13業種で低下がみられ、この結果、プラスの業種はパルプ・紙など5業種にとどまる。業種全体の『利用動向指数』は△1と14ポイント低下する見通しで、荷動きは足踏み状態になるものとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	15	20	40	40	△ 20	15	20	47	33	△ 13
繊維・衣服	15	20	47	33	△ 13	15	20	47	33	△ 13
木材・家具	5	0	80	20	△ 20	5	0	60	40	△ 40
パルプ・紙	14	50	43	7	43	14	43	50	7	36
化学・プラスチック	58	36	57	7	29	58	22	62	16	6
窯業・土石	19	47	42	11	36	19	42	47	11	31
鉄鋼・非鉄	42	33	55	12	21	42	24	67	9	15
金属製品	16	13	74	13	0	16	12	69	19	△ 7
一般機械	55	25	53	22	3	55	22	56	22	0
電気機械	62	27	57	16	11	62	15	61	24	△ 9
輸送用機械	53	25	55	20	5	53	11	63	26	△ 15
精密機械	11	18	64	18	0	11	18	55	27	△ 9
その他	28	29	61	10	19	28	14	68	18	△ 4
計	393	29	55	16	13	393	20	60	20	0
卸売業										
生産財	7	29	71	0	29	6	0	83	17	△ 17
消費財	12	33	59	8	25	12	8	92	0	8
計	19	32	63	5	27	18	6	88	6	0
合計	412	29	55	16	13	411	19	61	20	△ 1

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料および金属製品がマイナス、木材・家具および精密機関がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス15で、前期（2013年10～12月）実績からは3ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、金属製品が改善し、窯業・土石が横ばいで推移する一方、残り13業種で低下がみられ、この結果、プラスの業種は窯業・土石など4業種にとどまる。業種全体の『利用動向指数』は△1と16ポイント低下する見通しで、荷動きは足踏み状態になるものとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	15	6	67	27	△21	15	7	60	33	△26
	繊維・衣服	17	29	47	24	5	17	12	53	35	△23
	木材・家具	14	29	42	29	0	14	7	79	14	△7
	パルプ・紙	16	25	75	0	25	16	13	74	13	0
	化学・プラスチック	50	24	68	8	16	50	16	68	16	0
	窯業・土石	20	30	60	10	20	20	35	50	15	20
	鉄鋼・非鉄	26	27	54	19	8	26	15	70	15	0
	金属製品	21	4	86	10	△6	21	14	72	14	0
	一般機械	53	23	64	13	10	53	21	62	17	4
	電気機械	61	38	54	8	30	61	20	62	18	2
	輸送用機械	50	24	58	18	6	50	18	60	22	△4
	精密機械	12	17	66	17	0	12	8	67	25	△17
	その他	25	40	56	4	36	25	8	76	16	△8
計	380	26	61	13	13	380	16	65	19	△3	
卸売業	生産財	19	37	63	0	37	18	22	72	6	16
	消費財	19	26	53	21	5	19	16	68	16	0
	計	38	32	58	10	22	37	19	70	11	8
合計	418	27	61	12	15	417	17	65	18	△1	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、輸送用機械、生産財卸など7業種がプラス、パルプ・紙および消費財卸がゼロ水準で、食料品・飲料、精密機械など6業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2013年10～12月）実績から7ポイント上昇してプラス4となり、2010年7～9月実績以来のプラスに浮上した。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械が強含み横ばいで推移し、窯業・土石など6業種が横ばいで推移する一方、その他の製造業など8業種で低下がみられ、この結果、プラスの業種は生産財卸など4業種にとどまる。業種全体の『利用動向指数』は△3と7ポイント低下する見通しで、荷動きはいくぶん減退するものとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	7	0	43	57	△ 57	7	0	43	57	△ 57
	繊維・衣服	12	17	58	25	△ 8	12	8	75	17	△ 9
	木材・家具	3	0	67	33	△ 33	3	0	67	33	△ 33
	パルプ・紙	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
	化学・プラスチック	39	21	69	10	11	39	5	85	10	△ 5
	窯業・土石	8	38	38	24	14	8	38	38	24	14
	鉄鋼・非鉄	25	28	60	12	16	25	12	72	16	△ 4
	金属製品	15	7	80	13	△ 6	15	7	80	13	△ 6
	一般機械	49	18	68	14	4	49	14	74	12	2
	電気機械	70	15	66	19	△ 4	70	20	57	23	△ 3
	輸送用機械	41	20	80	0	20	41	10	85	5	5
	精密機械	13	8	69	23	△ 15	13	0	85	15	△ 15
	その他	17	24	71	5	19	17	6	76	18	△ 12
計	303	18	68	14	4	303	12	72	16	△ 4	
卸 売 業	生産財	9	44	56	0	44	9	22	78	0	22
	消費財	7	14	72	14	0	7	0	86	14	△ 14
	計	16	31	63	6	25	16	13	81	6	7
合計	319	18	68	14	4	319	12	73	15	△ 3	

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、鉄鋼・非鉄、生産財卸など6業種がプラス、木材・家具など4業種がゼロ水準で、食料品・飲料など5業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2013年10～12月）実績から4ポイント上昇してプラス2となり、2010年7～9月実績以来のプラスに浮上した。

■ 2014年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石など6業種が横ばいで推移する一方、その他の製造業、生産財卸など9業種で低下し、この結果、プラスの業種は窯業・土石および生産財の2業種にとどまる。業種全体の『利用動向指数』は△9と11ポイント低下する見通しで、荷動きは再び減退に向かうものとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

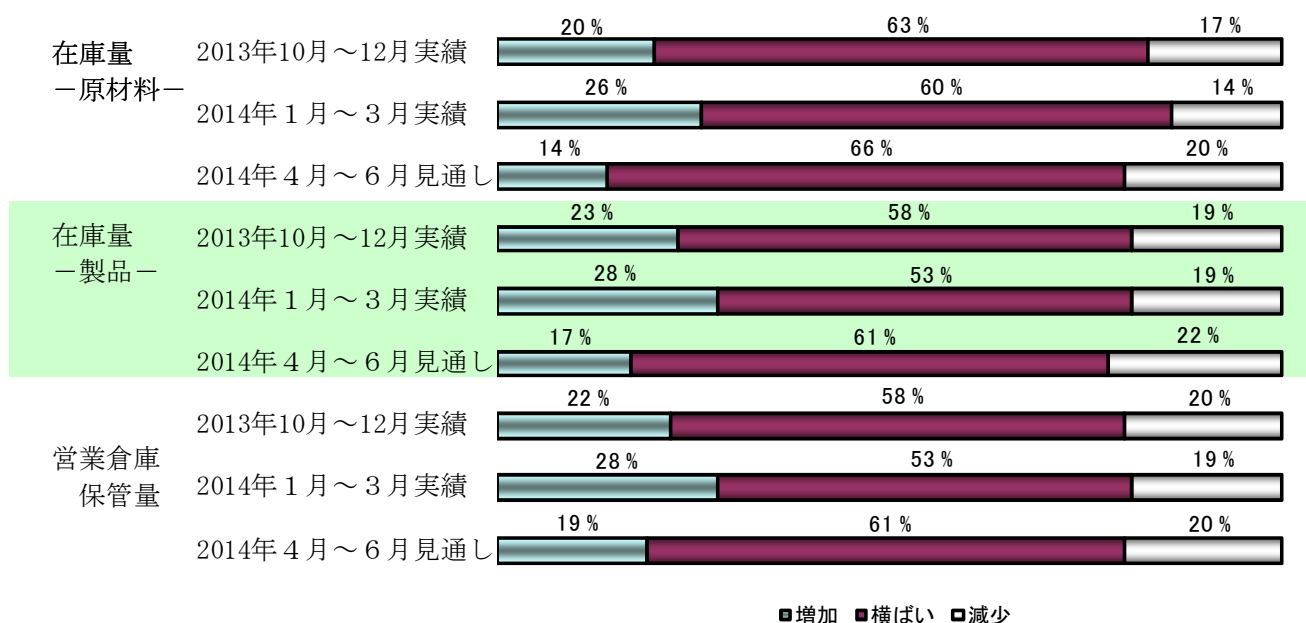
業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	6	0	67	33	△ 33	6	0	67	33	△ 33
	繊維・衣服	11	9	55	36	△ 27	11	0	55	45	△ 45
	木材・家具	3	33	33	33	0	3	0	67	33	△ 33
	パルプ・紙	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
	化学・プラスチック	33	3	88	9	△ 6	33	0	88	12	△ 12
	窯業・土石	9	33	45	22	11	9	33	45	22	11
	鉄鋼・非鉄	19	26	69	5	21	19	10	74	16	△ 6
	金属製品	12	0	83	17	△ 17	12	0	83	17	△ 17
	一般機械	38	8	74	18	△ 10	38	8	71	21	△ 13
	電気機械	62	19	71	10	9	62	15	69	16	△ 1
	輸送用機械	37	14	76	10	4	37	8	78	14	△ 6
	精密機械	12	0	100	0	0	12	8	84	8	0
	その他	18	17	78	5	12	18	6	72	22	△ 16
計	264	13	74	13	0	264	8	74	18	△ 10	
卸 売 業	生産財	9	56	44	0	56	8	12	88	0	12
	消費財	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	計	18	28	72	0	28	17	6	94	0	6
合計	282	14	74	12	2	281	8	75	17	△ 9	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2014年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、『動向指数』は前期（2013年10～12月）実績よりも上昇した。この結果、すべての『動向指数』が引き続きプラスを示した。

■ 2014年4～6月の見通しについては、すべての『動向指数』が低下し、かつすべての『動向指数』がマイナスに落ち込む。こうしたことから、前期（2014年1～3月）までの在庫積み増しの動きから一転して、在庫圧縮および営業倉庫保管量削減の方向に動く可能性がある。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、繊維・衣服がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はプラス12で、前期（2013年10～12月）実績からは9ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、精密機械が改善する一方、残り14業種で低下がみられ、この結果、プラスの業種はパルプ・紙など4業種にとどまる。業種全体の『利用動向指数』は△6と18ポイント低下する見通しで、原材料在庫は再び圧縮の方向に動くものとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	84	30	52	18	12	83	13	67	20	△7	
繊維・衣服	41	20	60	20	0	41	7	64	29	△22	
木材・家具	35	31	55	14	17	35	5	69	26	△21	
パルプ・紙	42	36	55	9	27	42	14	79	7	7	
化学・プラスチック	105	22	67	11	11	105	15	72	13	2	
窯業・土石	37	32	52	16	16	37	19	65	16	3	
鉄鋼・非鉄	89	20	68	12	8	89	18	70	12	6	
金属製品	40	23	65	12	11	40	12	68	20	△8	
一般機械	70	29	59	12	17	70	23	53	24	△1	
電気機械	115	24	63	13	11	115	15	68	17	△2	
輸送用機械	89	24	60	16	8	89	11	58	31	△20	
精密機械	20	15	55	30	△15	20	15	65	20	△5	
その他	57	37	51	12	25	57	12	63	25	△13	
計	824	26	60	14	12	823	14	66	20	△6	
卸売業	生産財	27	22	59	19	3	27	7	74	19	△12
	消費財	33	24	55	21	3	33	15	61	24	△9
	計	60	23	57	20	3	60	11	67	22	△11
合計	884	26	60	14	12	883	14	66	20	△6	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、木材・家具および精密機械がマイナスで、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はプラス9で、前期（2013年10～12月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、パルプ・紙および精密機械が上昇する一方、残り13業種で低下がみられ、この結果、プラスの業種はパルプ・紙など4業種にとどまる。業種全体の『利用動向指数』は△5と14ポイント低下する見通しで、製品在庫は再び圧縮の方向に動くものとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	88	30	50	20	10	88	18	58	24	△6	
繊維・衣服	44	25	55	20	5	44	20	53	27	△7	
木材・家具	35	17	57	26	△9	35	11	58	31	△20	
パルプ・紙	44	32	43	25	7	44	20	71	9	11	
化学・プラスチック	111	29	55	16	13	111	23	59	18	5	
窯業・土石	38	37	34	29	8	38	18	56	26	△8	
鉄鋼・非鉄	89	24	57	19	5	89	18	66	16	2	
金属製品	44	30	55	15	15	44	18	59	23	△5	
一般機械	72	24	60	16	8	72	25	53	22	3	
電気機械	115	29	57	14	15	115	15	64	21	△6	
輸送用機械	93	30	53	17	13	93	14	56	30	△16	
精密機械	22	13	64	23	△10	22	9	73	18	△9	
その他	58	31	50	19	12	58	14	57	29	△15	
計	853	28	53	19	9	853	17	60	23	△6	
卸売業	生産財	49	39	43	18	21	48	12	67	21	△9
	消費財	44	30	48	22	8	44	9	71	20	△11
	計	93	34	46	20	14	92	11	68	21	△10
合計	946	28	53	19	9	945	17	61	22	△5	

(3) 営業倉庫保管量

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、木材・家具が唯一マイナスを示し、窯業・土石がゼロ水準で、残り13業種がプラスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はプラス9で、前期（2013年10～12月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『保管動向指数』見通しでは、パルプ・紙など3業種が上昇する一方、残り12業種で低下し、この結果、プラスの業種はパルプ・紙、一般機械など6業種となる。業種全体の『保管動向指数』は△1と10ポイント低下する見通しで、営業倉庫保管量は足踏み状態になるものとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

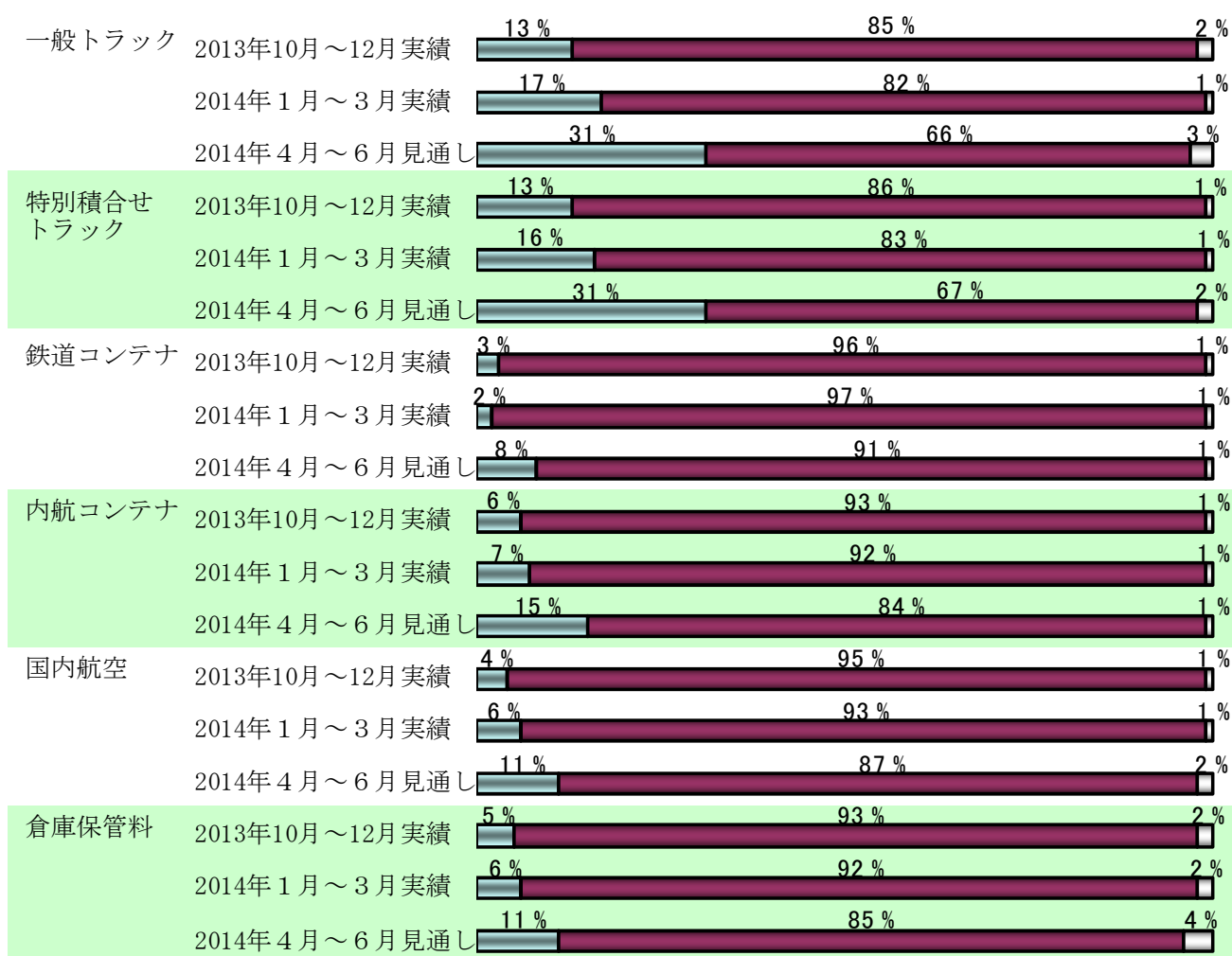
業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	72	28	46	26	2	71	14	61	25	△11
	繊維・衣服	28	21	61	18	3	28	25	54	21	4
	木材・家具	27	26	44	30	△4	27	14	67	19	△5
	パルプ・紙	37	32	41	27	5	37	41	51	8	33
	化学・プラスチック	92	28	57	15	13	92	23	62	15	8
	窯業・土石	23	26	48	26	0	23	22	48	30	△8
	鉄鋼・非鉄	70	29	54	17	12	70	15	66	19	△4
	金属製品	34	26	62	12	14	34	21	71	8	13
	一般機械	55	25	57	18	7	55	33	51	16	17
	電気機械	85	28	57	15	13	85	20	61	19	1
	輸送用機械	61	26	56	18	8	60	15	57	28	△13
	精密機械	14	21	65	14	7	14	7	86	7	0
	その他	42	38	41	21	17	42	17	57	26	△9
計	640	28	53	19	9	638	21	60	19	2	
卸売業	生産財	37	38	51	11	27	37	10	68	22	△12
	消費財	38	26	50	24	2	38	8	63	29	△21
	計	75	32	51	17	15	75	9	66	25	△16
合計	715	28	53	19	9	713	19	61	20	△1	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 2014年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、鉄道コンテナにおいて弱含み横ばいで推移する一方、残りすべての機関では前期（2013年10～12月）実績よりも上昇し、かつ引き続きすべての機関で『動向指数』がプラスとなった。

■ 2014年4～6月の『動向指数』見通しについては、すべての機関において上昇方向に動き、引き続きすべての機関で『動向指数』がプラスとなる見込みである。とくに一般トラック、特別積合せトラック、内航コンテナにおいては『動向指数』が2ケタのプラスとなり、増勢がさらに強まる見通しである。

運賃・料金の実績と見通し



■ 値上り ■ 変わらず □ 値下り

(1) 一般トラック運賃

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、精密機械が唯一マイナスを示し、残り14業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス16で、前期(2013年10～12月)実績からは5ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、輸送用機械のプラス幅が縮小する一方、精密機械がプラスに反転するなど、残り14業種において上昇する見込みである。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は12ポイント上昇してプラス28と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	97	21	76	3	18	95	40	55	5	35
	繊維・衣服	40	17	83	0	17	39	41	59	0	41
	木材・家具	37	24	76	0	24	37	32	68	0	32
	パルプ・紙	44	20	80	0	20	43	37	63	0	37
	化学・プラスチック	111	19	81	0	19	111	38	62	0	38
	窯業・土石	38	21	76	3	18	38	42	55	3	39
	鉄鋼・非鉄	98	17	81	2	15	97	36	62	2	34
	金属製品	48	10	90	0	10	47	23	77	0	23
	一般機械	79	16	83	1	15	79	24	75	1	23
	電気機械	124	12	86	2	10	123	27	70	3	24
	輸送用機械	92	12	85	3	9	92	16	74	10	6
	精密機械	18	6	83	11	△5	18	17	72	11	6
	その他	59	15	85	0	15	59	32	65	3	29
計	885	16	82	2	14	878	31	66	3	28	
卸 売 業	生産財	50	16	82	2	14	50	36	64	0	36
	消費財	53	23	77	0	23	52	27	73	0	27
	計	103	19	80	1	18	102	31	69	0	31
合計	988	17	82	1	16	980	31	66	3	28	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、マイナスの業種は皆無で、輸送用機械および精密機械が1ケタのプラスにとどまる以外は、残り13業種が2ケタのプラスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス15で、前期(2013年10～12月)実績からは3ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、すべての業種においてプラス幅が拡大し、かつすべての業種で2ケタのプラスとなる見込みである。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は14ポイント上昇してプラス29と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	64	22	77	1	21	64	36	61	3	33
繊維・衣服	35	17	80	3	14	35	40	54	6	34
木材・家具	27	19	81	0	19	27	33	67	0	33
パルプ・紙	29	21	79	0	21	29	38	62	0	38
化学・プラスチック	96	19	81	0	19	96	41	58	1	40
製 窯業・土石	31	26	74	0	26	31	42	58	0	42
造 鉄鋼・非鉄	61	15	84	1	14	61	28	70	2	26
業 金 属 製 品	38	13	87	0	13	38	24	76	0	24
一 般 機 械	65	18	80	2	16	65	25	74	1	24
電 気 機 械	99	10	90	0	10	99	29	70	1	28
輸 送 用 機 械	72	11	83	6	5	72	21	72	7	14
精 密 機 械	13	8	92	0	8	13	23	69	8	15
そ の 他	45	16	82	2	14	45	38	56	6	32
計	675	16	83	1	15	675	32	66	2	30
卸 生 産 財	41	20	80	0	20	41	39	61	0	39
売 消 費 財	37	11	89	0	11	36	14	86	0	14
業 計	78	15	85	0	15	77	27	73	0	27
合 計	753	16	83	1	15	752	31	67	2	29

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、マイナスの業種は皆無であり、繊維・衣服、化学・プラスチック、その他の製造業の3業種がプラスで、残り12業種がゼロ水準となった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期(2013年10～12月)実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2014年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品および消費財卸が横ばいで推移する一方、残り13業種において上昇する見込みである。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は6ポイント上昇してプラス7と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	49	0	100	0	0	49	4	96	0	4
	繊維・衣服	13	15	85	0	15	12	17	83	0	17
	木材・家具	17	0	100	0	0	17	6	94	0	6
	パルプ・紙	32	0	100	0	0	32	3	97	0	3
	化学・プラスチック	81	4	96	0	4	81	7	93	0	7
	窯業・土石	17	0	100	0	0	17	6	94	0	6
	鉄鋼・非鉄	36	6	88	6	0	36	8	89	3	5
	金属製品	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0
	一般機械	33	0	100	0	0	33	6	94	0	6
	電気機械	42	2	96	2	0	42	14	81	5	9
	輸送用機械	33	3	94	3	0	33	12	85	3	9
	精密機械	8	0	100	0	0	8	25	75	0	25
	その他	31	3	97	0	3	31	13	87	0	13
計	411	2	97	1	1	410	8	91	1	7	
卸 売 業	生産財	8	0	100	0	0	8	25	75	0	25
	消費財	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
	計	23	0	100	0	0	23	9	91	0	9
合計	434	2	97	1	1	433	8	91	1	7	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、マイナスの業種は皆無であり、木材・家具など4業種がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス6で、前期(2013年10～12月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2014年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄がマイナスに沈み、消費財卸もゼロ水準まで下降する一方、木材・家具など4業種がプラスに浮上するなど、多くの業種において上昇する見込みである。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は8ポイント上昇してプラス14と見込まれ、運賃水準の上昇圧力がさらに強まるものとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	27	7	89	4	3	27	19	78	3	16
	繊維・衣服	6	17	83	0	17	6	17	83	0	17
	木材・家具	8	0	100	0	0	8	25	75	0	25
	パルプ・紙	16	25	75	0	25	16	37	63	0	37
	化学・プラスチック	52	8	92	0	8	52	15	85	0	15
	窯業・土石	12	8	92	0	8	12	17	83	0	17
	鉄鋼・非鉄	25	4	96	0	4	25	0	96	4	△4
	金属製品	14	21	79	0	21	14	21	79	0	21
	一般機械	29	0	100	0	0	29	3	97	0	3
	電気機械	36	6	94	0	6	36	11	89	0	11
	輸送用機械	28	7	89	4	3	28	18	79	3	15
	精密機械	9	0	100	0	0	9	22	67	11	11
その他	21	5	95	0	5	21	19	81	0	19	
計	283	7	92	1	6	283	15	84	1	14	
卸売業	生産財	4	0	100	0	0	4	25	75	0	25
	消費財	14	7	93	0	7	13	0	100	0	0
	計	18	6	94	0	6	17	6	94	0	6
合計	301	7	92	1	6	300	15	84	1	14	

(5) 国内航空運賃

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、マイナスの業種は皆無であり、生産財卸、消費財卸など9業種がプラスで、木材・家具など6業種がゼロ水準となった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス5で、前期(2013年10～12月)実績からは2ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品がマイナスに沈む一方、輸送用機械など4業種がプラスに浮上するなど、多くの業種において上昇する見込みである。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は4ポイント上昇してプラス9と見込まれ、運賃水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	19	11	89	0	11	19	16	84	0	16
	繊維・衣服	7	14	86	0	14	7	29	71	0	29
	木材・家具	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	20	80	0	20
	化学・プラスチック	37	5	95	0	5	37	14	86	0	14
	窯業・土石	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10
	鉄鋼・非鉄	22	0	100	0	0	22	5	95	0	5
	金属製品	17	6	88	6	0	16	6	81	13	△7
	一般機械	39	5	95	0	5	39	10	90	0	10
	電気機械	64	5	92	3	2	64	11	84	5	6
	輸送用機械	33	0	100	0	0	33	9	91	0	9
	精密機械	12	0	100	0	0	12	17	75	8	9
	その他	20	5	95	0	5	20	10	85	5	5
計	292	4	95	1	3	291	11	87	2	9	
卸 売 業	生産財	10	30	70	0	30	10	30	70	0	30
	消費財	14	14	86	0	14	14	7	93	0	7
	計	24	21	79	0	21	24	17	83	0	17
合計	316	6	93	1	5	315	11	87	2	9	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2014年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、マイナスの業種は皆無であり、繊維・衣服、消費財卸など9業種がプラスで、パルプ・紙など6業種がゼロ水準となった。業種全体の『料金動向指数』はプラス4で、前期(2013年10～12月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2014年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、輸送用機械がマイナスに沈む一方、精密機械など5業種がプラスに浮上するなど、多くの業種において上昇する見込みである。この結果、業種全体の『料金動向指数』は3ポイント上昇してプラス7と見込まれ、料金水準の上昇圧力が強まるものとみられる。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	56	11	86	3	8	56	23	70	7	16
	繊維・衣服	23	13	83	4	9	23	22	74	4	18
	木材・家具	19	5	95	0	5	19	11	89	0	11
	パルプ・紙	32	0	100	0	0	32	3	97	0	3
	化学・プラスチック	86	8	92	0	8	86	12	84	4	8
	窯業・土石	16	0	100	0	0	15	7	93	0	7
	鉄鋼・非鉄	58	2	96	2	0	58	10	88	2	8
	金属製品	24	4	92	4	0	23	9	82	9	0
	一般機械	51	8	92	0	8	51	10	90	0	10
	電気機械	76	5	92	3	2	75	9	88	3	6
	輸送用機械	57	7	88	5	2	57	5	86	9	△4
	その他	37	3	94	3	0	37	11	81	8	3
	計	548	6	92	2	4	545	11	85	4	7
卸売業	生産財	30	7	93	0	7	29	7	93	0	7
	消費財	34	15	85	0	15	34	18	79	3	15
	計	64	11	89	0	11	63	13	86	1	12
合計	612	6	92	2	4	608	11	85	4	7	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2014年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、マイナスの業種は皆無で、精密機械が1ケタのプラスにとどまる以外は、残り14業種が2ケタのプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス20で、前期（2013年10～12月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 2014年4～6月の『動向指数』見通しでは、消費財卸など9業種でプラス幅が縮小する一方、電気機械など6業種において上昇する。この結果、業種全体の『動向指数』はプラス21と強含み横ばいの推移が見込まれ、物流コスト割合はさらに拡大する見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2014年1月～3月実績					2014年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	94	32	60	8	24	93	39	54	7	32
織 維 ・ 衣 服	46	26	70	4	22	46	33	54	13	20
木 材 ・ 家 具	38	29	66	5	24	38	32	63	5	27
パ ル プ ・ 紙	45	33	65	2	31	44	27	68	5	22
化学・プラスチック	112	27	63	10	17	112	32	60	8	24
製 窯 業 ・ 土 石	39	41	54	5	36	39	41	49	10	31
造 鉄 鋼 ・ 非 鉄	101	25	68	7	18	101	21	73	6	15
業 金 属 製 品	49	24	70	6	18	49	22	66	12	10
一 般 機 械	78	26	68	6	20	78	24	64	12	12
電 気 機 械	132	23	64	13	10	132	32	57	11	21
輸 送 用 機 械	95	24	63	13	11	95	21	65	14	7
精 密 機 械	20	15	75	10	5	20	25	65	10	15
そ の 他	60	32	58	10	22	60	33	57	10	23
計	909	27	64	9	18	907	29	61	10	19
卸 生 産 財	54	33	61	6	27	54	33	58	9	24
売 消 費 財	55	40	55	5	35	55	31	56	13	18
業 計	109	37	58	5	32	109	32	57	11	21
合 計	1,018	28	64	8	20	1,016	30	61	9	21